



代々木歯科コーナー

連載



歯のメンテナンスについて

— その81 — 歯科医師 監物佐栄子

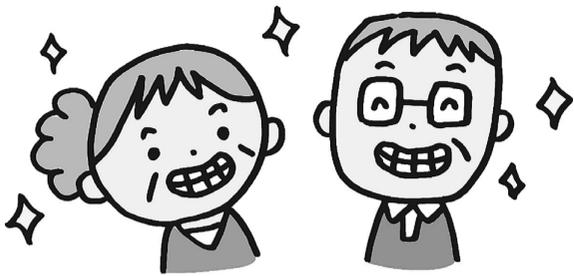
みなさんは、歯医者に行くのは、歯が痛くなったり、お口の中に何かトラブルが起きたときですか？

歯医者には痛いことをされるから、何か怖いからと嫌厭される方が多いと思います。また、虫歯や歯周病の治療が完了したら、もう歯医者に行かなくても良いと思われ方もいると思います。

歯が痛くなる前の受診が歯を守るので、定期的メンテナンスで通うことをおすすめします。メンテナンスとは、病気の症状が出る前に定期検診を受け、お口の検査

をし、歯のクリーニングを行うことです。定期検診を受けることで、早期発見・早期治療につながります。悪化する前に治療を行うことができるので、通院回数が少なく済み、治療が簡単で治療費が抑えられ、そして何よりお口のダメージを抑えることができるのです。

歯が痛くなる前の受診が歯を守るので、定期的メンテナンスで通うことをおすすめします。メンテナンスとは、病気の症状が出る前に定期検診を受け、お口の検査



放射線科紹介

マンモグラフィ検査について



マンモグラフィ検査とは、乳房専用のレントゲン装置を使用して行う検査のことです。乳房を引き出して、板で圧迫して薄く伸ばして撮影します。乳房を圧迫し乳房を薄くすることで、乳がんの初期症状である微細な石灰化があると白い点状に写り、触診では分からない小さいしこりを白っぽいかたまりとして描き出されます。また、放射線被ばく量を減らすことが出来ます。圧迫時に多少の痛みを感じる場合がありますが、もし我慢でき



きないような痛みがある場合は、遠慮なさらずに検査担当者にお伝えください。一方で、乳腺も白く写るため、乳腺が発達している人や閉経前の若い世代ではしこりを見つけにくいこと、また少量ですが放射線被ばくをするので、妊娠中や妊娠の可能性のある人は受けることが短所です。乳がんは女性が発症するがんの中で最も多く、30歳台後半から増加し始め、40歳台後半から50歳台前半でピークになります。さらに、閉経後の60歳台前半で再びピークを迎える傾向があります。日本人女性の11人に1人が生涯に乳がんになると言われています。しかし、乳がんは早期発見・診断・治療をすれば完治する可能性が高く生存率の高いがんです。乳がんを他人ごとだと思わずに、乳がん検診を受けてみませんか。

(69) コロナウイルス予防効果をうたう広告に注意

サプリメントに頼らない生活

薬剤師 藤竿伊知郎 (外苑企画商事)



はりました。その例としてあげられたのは次のような効果でした。



「新型コロナウイルスはマグネシウム不足で発症、ビタミンD、マグネシウム、亜鉛、セレンをビタミンCと同時に摂取することで、ウイルスに対する免疫機能を強化」、「白樺キノコ(チャイガ)をベースにしたコロナウイルスの治療法を発見」、「自己免疫力を高めるのに最高の免疫賦活素材」

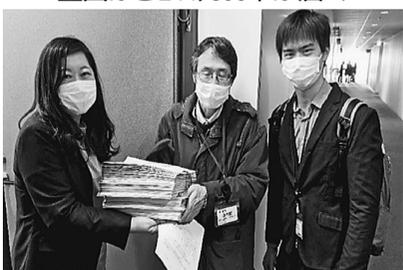
「新型コロナウイルス感染症予防の切札の餌(柿渋)」という商品もありました。2020年9月、奈良県立医科大が発

2月19日、消費者庁はコロナウイルスに効果があるとして販売中の商品とサービスに対し、インターネット広告の改善要請をおこないました。その中でサプリメントは32商品、除菌をうたう製品

国会議員に「いのち守れ」と請願



全国から244,600筆が届く



立憲民主の松尾あきひろ議員の秘書に署名を提出

3月4日、「いのちまもる」国会請願署名の提出(約24万5千筆)と議員要請行動に参加した当院の職員は、東京・埼玉選出の衆議員を訪ね、医療・介護現場の深刻な実態を訴えました。また、請願に賛同を表明する議員に「いのち署名」を提出しました。